



前原高校だより

2021年9月16日

第9号

校長 大城 健

分散登校、コロナの試練を乗り越え、頑張ろう！

9/12まで発令されていた緊急事態宣言が、沖縄の厳しい感染状況をふまえて9/30まで延長されました。それに伴い、分散登校も継続となります。このような状況の中、9/17・18に予定していた舞台祭も中止せざるをえませんでした。しかし、何とか生徒達の思い出となる代替の行事を行おうと、現在検討しているところです。3年生も大学の総合型選抜などいよいよ本格的に進路への挑戦が始まります。生徒の皆さん、逆境を乗り越えて頑張ろう！

(校舎入口での検温チェック)→



2年「総合的な探究の時間」研究発表ポスター展示！



総合的な探究の時間は「自己の可能性を拓く～グローバルな視点と地域への誇りを持ち、何事にも挑戦する～」というテーマの下、変わり続ける社会への対応力を身につけるために取り組んでいます。中心となる探究活動は2年1学期の「個人プロジェクト」、2学期の「グループプロジェクト」。1年の12月に2年の先輩(現3年)のプロジェクト発表を聞いてイメージを作り、1年の3学期に個人プロジェクトのテーマ決めを行い、2年生になってから本格的に取り組みました。個人プロジェクトは「自ら課題を見つけ、答えを問い、答えを導き出す」活動です。その活動をA3のポスターにまとめ発表しました。テーマ例「キレイな海を守るために」「ブレザーorセーラー(LGBT)」「スマホ依存」「STOP RACISM(人種差別)」「この島が世界一の観光地になるには」など。

(校舎入ってすぐ左側に展示)→



SDGs実践、ビーチクリーン作戦「ちゅら浜girl's project」



SDGs(エスディーエーゼズ)は「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年の国連サミットで採択された人類の課題解決に向けた17の目標です。3年生の塩濱涼さん、下地姫凜さん、泉川七海さん、仲間理沙さん、具志堅梨菜さんの5人は、2年の時にSDGsを学び、地域の課題と解決策について考えました。そして実際に自分達で行動に移せることはないかと相談し、思いついたのが地域ビーチクリーン作戦。「ちゅら浜 girl's project」と銘打って仲間を募り、月2回程度、

ちゅら浜girl(琉球新報より)ビーチの清掃活動を行っています。(男子に遠慮せずにできるように女子限定)その活動が多くの人々の目にとまり、7/4の新聞(琉球新報)で紹介されました。活動を通して、ゴミ問題について考えを深めるとともに、仲間の広がりにも勇気を得て、自主活動のすばらしさを実感しました。一人一人の力の結集が社会を変える力になる！頑張れ、ちゅら浜girl！

金城妃亜梨さん、沖縄子どもの未来県民会議より感謝状！

個人の活動が新聞(8/14琉球新報)掲載された金城妃亜梨さん(3年)。金城さんは新型コロナの影響で苦しむ子ども達がいることを知り、自分にできることはないかと考えました。そこで自作のアクセサリー等をフリーマーケットで販売し、その収益を「沖縄子どもの未来県民会議」に寄付したところ、同会議から感謝状が贈られました。将来アナウンサーになって社会に貢献したいと考えている金城さん、夢をもって頑張る前高生はすばらしい！



(贈られた感謝状)